

第43回 市政世論調査結果（概要）

■調査対象：平成28年6月末現在 18歳以上の市民 4,000人

■回収率：51.5%（2,059人 昨年-1ポイント）

※29歳以下の抽出者数に対する回答率は、35.7%であった。昨年の33.0%から2.7ポイント上がり、若い世代の回答を昨年よりも多く得られた。

1. 個別調査

(1) 市政情報の入手方法について（広報課，広報戦略課）

・市政情報の取得満足度			・市政情報以外の必要な情報の入手先	
	H26	H28		
十分に得ている	6.2%	7.8%	新聞（18~29歳：4.8%，65~74歳：60.1%）	
得ている	39.6%	38.1%	スマートフォン・タブレット（18~29歳：63.6%，65~74歳：1.1%）	
あまり得ていない	42.6%	43.6%	：	
まったく得ていない	8.9%	8.5%	パソコン（18~29歳：9.6%，65~74歳：4.4%）	

⇒ 市政情報の入手先は「市報にいがた」、「新聞」、「区役所だより」の順となっている。市政情報以外では、年齢が上がるほど「新聞」が高く、年齢が下がるほど「スマートフォン・タブレット」が高くなる傾向がみられた。若い世代はスマートフォンから情報を得ていることがわかる。

(2) 新潟市に対する誇りや愛着について（広報戦略課）

・誇りや愛着の関心度	※「ある」+「ある程度ある」の割合
食（農産物：86.6%，海産物：69.9%，料理：69.7%，酒：67.2%）	
景観（日本海：68.1%，田園：62.0%，河川：58.8%，湊町の歴史・風土・街並み：38.6%）	
文化（まつり・イベント：50.9%，ポップカルチャー：26.0%）	

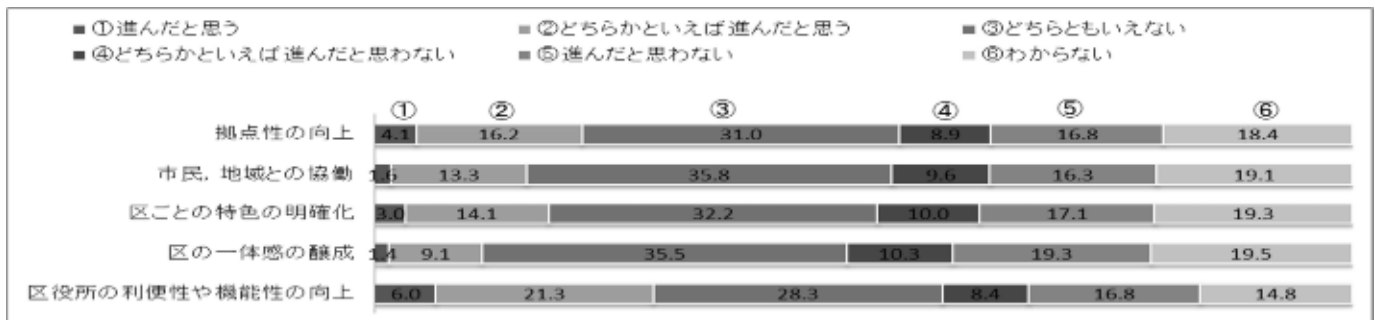
⇒ 「食と農」が上位を占め、「農産物」は全ての年代において8割を超えた。「ポップカルチャー」は18~29歳で44.9%となり、年代が上がるほど割合が低い傾向がみられた。

(3) 新潟市のコミュニティについて（市民協働課）

・地域コミュニティ協議会の認知度	H25（知っている+聞いたことはある）	H28（活動内容も知っている+名前だけ知っている）
知っている	57.9%	59.7%
知らない	41.2%	36.8%

⇒ 年齢別に見ると「知っている」の割合は65~74歳（80.7%）で最も高く、18~29歳で約2割（19.3%）に留まる。

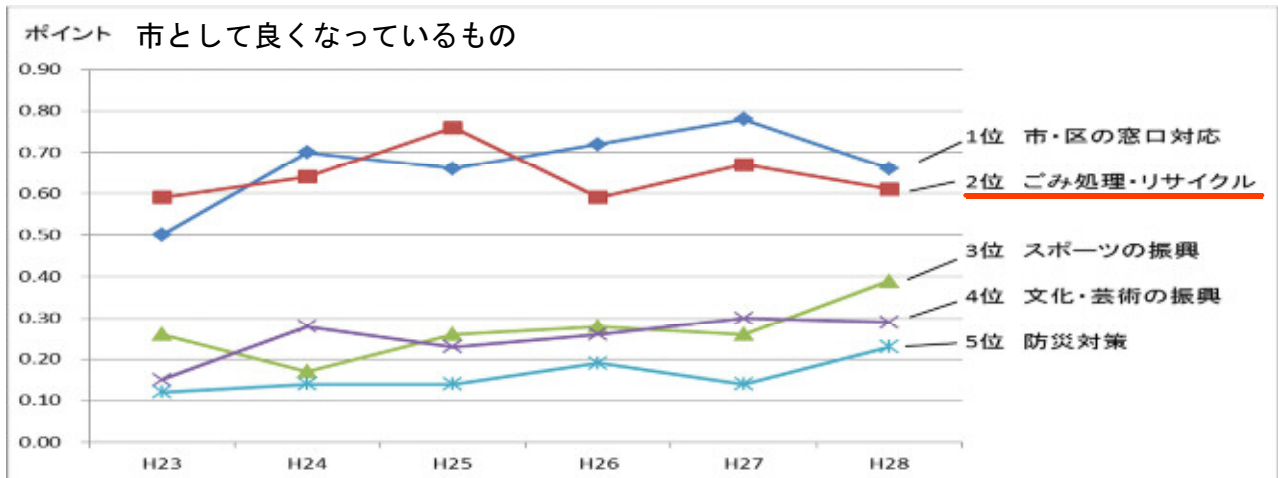
(4) 政令市移行後10年のまちづくりについて（政策調整課）



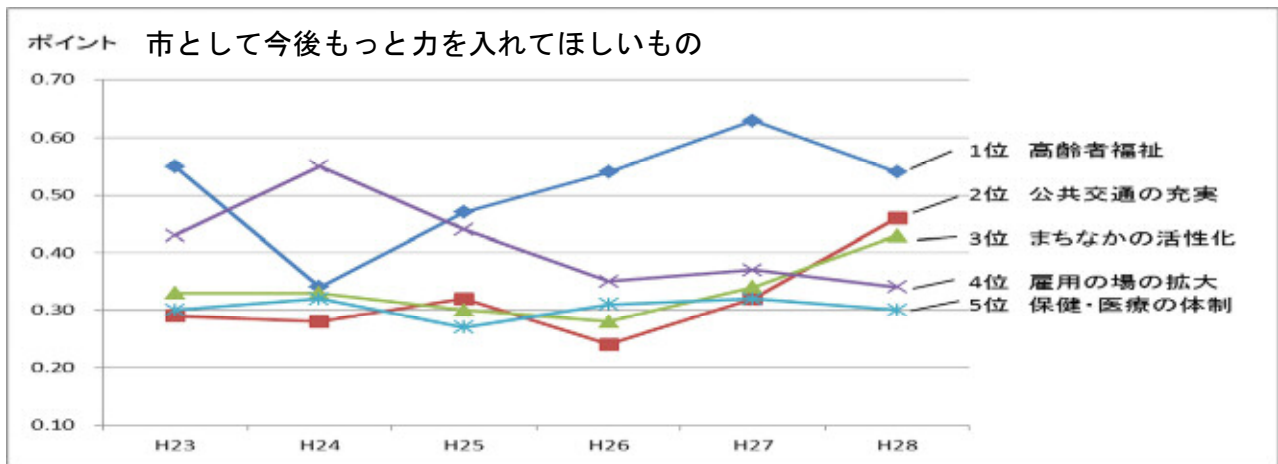
⇒ 「進んだと思う」は「区役所の利便性や機能性の向上」で最多となった。また、政令市移行による効果をいかした取組みの設問では「ハイレベルな国際会議や芸術・文化、スポーツイベントの開催」の評価が最も高い結果となった。

2. 経年調査

(1) 市政全般と区政について



⇒「窓口対応」と「ごみ処理・リサイクル」が引き続き、トップ2を占める。
「スポーツの振興」が3位に向上。市民マラソンをはじめ、未来ポイントなど市の健康増進への取組みが評価されているのではないかと考えられる。



⇒「高齢者福祉」が引き続き1位となる。
「公共交通の充実」と「まちなかの活性化」が上昇し、関心度が上がっている。

(2) 市の取組みに対する満足度

【満足】	<u>ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など</u>	37.0%
	食と花の魅力向上や食文化の発信	34.3%
	「食と農」を活かした地域・人づくり	33.3%
【不満】	持続可能な公共交通体系の構築	40.2%
	にぎわい空間の創出など	25.4%
	女性・若者・障がいがある人などの労働環境	26.0%

⇒ ごみの減量化など「人と環境にやさしいまちづくり」や「食と農」の取組みが高く評価されている。

3. その他

- 11/25 (金) 市ホームページに掲載
- 11/27 (日) 市報に掲載
- 11/28 (月) 各区役所・市政情報室にて閲覧可

第43回 市政世論調査 報告書（抜粋）

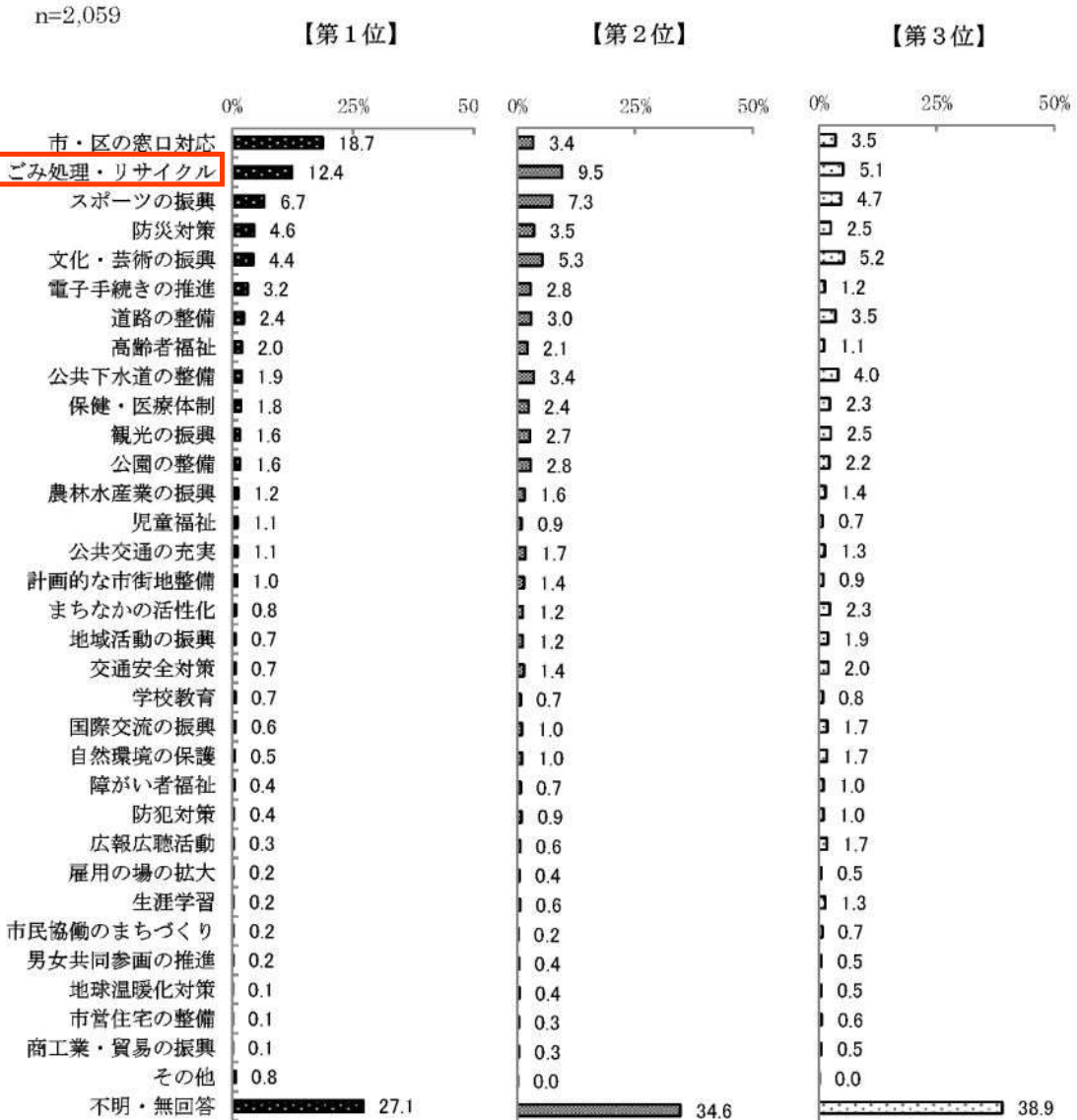
5. 市政全般と区政について

（1）新潟市として良くなっているもの

問21 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

①「新潟市として良くなっているもの」を

次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号（1～33）をご記入ください。（それぞれの順位欄に番号数字を記入してください）



— 新潟市として良くなっているものは「市・区の窓口対応」 —

【全体結果】

【第1位回答】の割合は、「市・区の窓口対応」(18.7%)が最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」(12.4%)、「スポーツの振興」(6.7%)の順に続く。

【第2位回答】の割合は、「ごみ処理・リサイクル」(9.5%)が最も高い。以下、「スポーツの振興」(7.3%)、「文化・芸術の振興」(5.3%)の順に続く。

【第3位回答】の割合は、「文化・芸術の振興」(5.2%)が最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」(5.1%)、「スポーツの振興」(4.7%)の順に続く。

なお、「不明・無回答」の割合は、第1位が27.1%、第2位が34.6%、第3位が38.9%で、いずれの【回答順位】においても、その割合は高い。

【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『新潟市として良くなっているもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図5-1参照)

平均得点が高いほど、「新潟市として良くなっている」との評価が高い施策・事業である。平均得点の算出式、算出例を以下に掲載した。

※1：平均得点の算出式

$$(\text{【第1位回答】} \times 3 + \text{【第2位回答】} \times 2 + \text{【第3位回答】} \times 1) \div n \text{ 数}$$

※2：平均得点の算出例（全体結果、「市・区の窓口対応」の場合）

$$(385 \times 3 + 69 \times 2 + 72 \times 1) \div 2,059 \approx 0.66$$

平均得点 = 0.66ポイント

【平均得点】をみると、「市・区の窓口対応」が0.66ポイントで最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」が0.61ポイント、「スポーツの振興」が0.39ポイント、「文化・芸術の振興」が0.29ポイント、「防災対策」が0.23ポイントで続いている。なお、性別、年齢別平均得点の上位5つを次々頁に掲載した。(表5-1参照)

図 5-1 新潟市として良くなっているもの<平均得点> (全体)

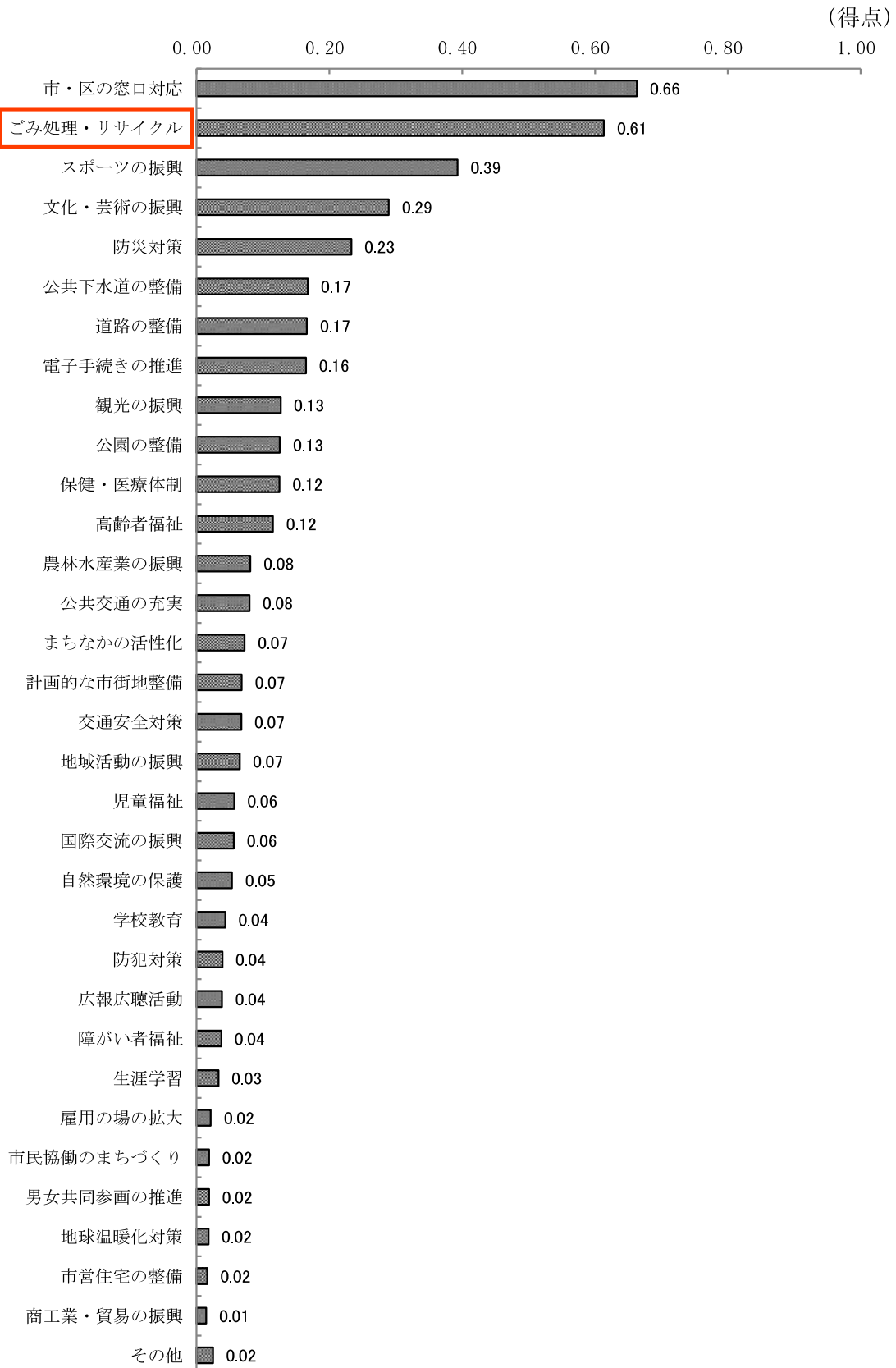


表 5-1 新潟市として良くなっているもの

<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男 性	女 性	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳
1位	市・区の窓口対応 (0.71 ポイント)	<u>ごみ処理・リサイクル</u> (0.67 ポイント)	スポーツの振興 (0.43 ポイント)	スポーツの振興 (0.63 ポイント)	スポーツの振興 (0.58 ポイント)
2位	<u>ごみ処理・リサイクル</u> (0.53 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.62 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.40 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.45 ポイント)	<u>ごみ処理・リサイクル</u> (0.52 ポイント)
3位	スポーツの振興 (0.43 ポイント)	スポーツの振興 (0.37 ポイント)	文化・芸術の振興 (0.39 ポイント)	文化・芸術の振興 (0.41 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.50 ポイント)
4位	文化・芸術の振興 (0.27 ポイント)	文化・芸術の振興 (0.31 ポイント)	道路の整備 (0.38 ポイント)	<u>ごみ処理・リサイクル</u> (0.37 ポイント)	文化・芸術の振興 (0.40 ポイント)
5位	防災対策 (0.24 ポイント)	防災対策 (0.23 ポイント)	<u>ごみ処理・リサイクル</u> (0.33 ポイント)	道路の整備 (0.29 ポイント)	観光の振興 (0.21 ポイント)

	50～59 歳	60～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
1位	<u>ごみ処理・リサイクル</u> (0.69 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.88 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.84 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.77 ポイント)
2位	市・区の窓口対応 (0.64 ポイント)	<u>ごみ処理・リサイクル</u> (0.76 ポイント)	<u>ごみ処理・リサイクル</u> (0.80 ポイント)	<u>ごみ処理・リサイクル</u> (0.62 ポイント)
3位	スポーツの振興 (0.50 ポイント)	スポーツの振興 (0.28 ポイント)	スポーツの振興 (0.27 ポイント)	高齢者福祉 (0.29 ポイント)
4位	文化・芸術の振興 (0.37 ポイント)	防災対策 (0.25 ポイント)	公共下水道の整備 (0.22 ポイント)	公共下水道の整備 (0.21 ポイント)
5位	防災対策 (0.34 ポイント)	公共下水道の整備 (0.22 ポイント)	防災対策 文化・芸術の振興 (0.20 ポイント)	防災対策 (0.16 ポイント)